

公共交通に関する市民アンケート調査 結果報告

公共交通に関する市民アンケート調査 結果報告

市民アンケートの調査実施概要

市民の公共交通に関する評価、ニーズの把握を目的にアンケートを実施します。

項目	内容	備考
調査法	<ul style="list-style-type: none">・ 郵送調査法（お礼兼督促無し、無記名方式）・ 市ホームページにおける公開型アンケート	
対象者	<ul style="list-style-type: none">・ 15歳以上の吹田市民（令和7年9月1日時点）	
調査時期	令和7(2025)年9月16日 ～令和7(2025)年10月31日	一部地域において、配布が遅れたことから、期間を延長して実施。 (1ヵ月から1.5ヵ月)
配布数	<ul style="list-style-type: none">・ 郵送アンケート：無作為抽出 6,000部(各地域1,000部)・ WEBアンケート（郵送と同内容）：自由参加方式	各地域（市民意識調査の区分） 千里ニュータウン・万博・阪大地域、山田・千里丘地域、片山・岸部地域、 JR以南地域、豊津・江坂・南吹田地域、千里山・佐井寺地域の6地域
回収数	<ul style="list-style-type: none">・ 郵送調査：2,949票（49.4%）・ 公開型アンケート：29票 合計2,978票	前回アンケートの回収率は34.1% 回収数の増加要因は①紙面量の減少（A4用紙7ページから4ページへ縮減）、②WEB 回答の受付、③回収期間の延長、と考える。

公共交通に関する市民アンケート調査 結果報告

調査項目

設問

回答者属性	問1	あなたご自身について	性別	居住地
			年齢	免許保有
			職業	移動特性
普段の外出	問2	外出の主な目的		
	問3	外出目的別の頻度・移動手段		
駅・モノレール	問4	鉄道・モノレールの満足度		
	問5	交通結節点における改善希望		
	問6	駅舎における改善希望		

設問設定趣旨・目的

✓ 基本属性として、意向の設問とのクロス集計に利用する。

- ✓ 目標値である外出頻度を把握するための設問(計画策定時アンケートと同様の設問とするため、目的別に頻度を確認)。
- ✓ 移動手段を確認することで「公共交通を利用した外出頻度」を把握する。

✓ 評価項目として前回との比較確認を行う。

- ✓ 施策の設定や優先順位の検討に活用するため、鉄道・モノレールに関する改善希望を確認する。

公共交通に関する市民アンケート調査 結果報告

調査項目

設問

路線バス・すいすいバス	問7	最寄りのバス停・バス路線の認知状況
	問8	路線バスの満足度
	問9	路線バスの不満の理由
	問10	すいすいバスの利用状況 (利用していない理由)
タクシー	問11	タクシーの利用頻度
	問12	タクシーの満足度
	問13	タクシーの改善希望

設問設定趣旨・目的

- ✓ 周知方法等を検討するために確認。(基本属性とのクロス集計)
- ✓ 設問自体がバス利用のきっかけとなることを期待している。
- ✓ 評価項目として前回との比較確認を行う。
- ✓ 不満点の理由確認により改善点を把握する。※未利用者を含む
- ✓ すいすいバスを利用していない方の意向を把握し、利用拡大策へと繋げるため。
- ✓ タクシーの改善希望とのクロス集計に利用する。
- ✓ 評価項目として前回との比較確認を行う。
- ✓ 改善点を把握する。

公共交通に関する市民アンケート調査 結果報告

調査項目

設問

問14 路線バスで行きたい施設（市内・近隣）

問15 **運転士不足の認知状況**

問16 路線バス維持に対する公的負担の考え

問17 **公共交通をより利用したいと思うか**

問18 運行維持に向けた個人の協力意向

問19 **新たなモビリティサービスの導入意向**

問20 公共交通の満足度

問21 公共交通に関する自由意見

設問設定趣旨・目的

✓ 交通需要を把握し、路線見直し等の参考とする。

✓ 認知状況の確認と啓発を兼ねた設問

✓ 市民の公費負担のとらえ方を確認

✓ 環境への配慮を含めた利用意向確認

✓ 利用者に支えられた公共交通であることを啓発

✓ 様々な公共交通サービスのニーズを把握する。

✓ **目標値である公共交通の満足度**を把握するための設問。

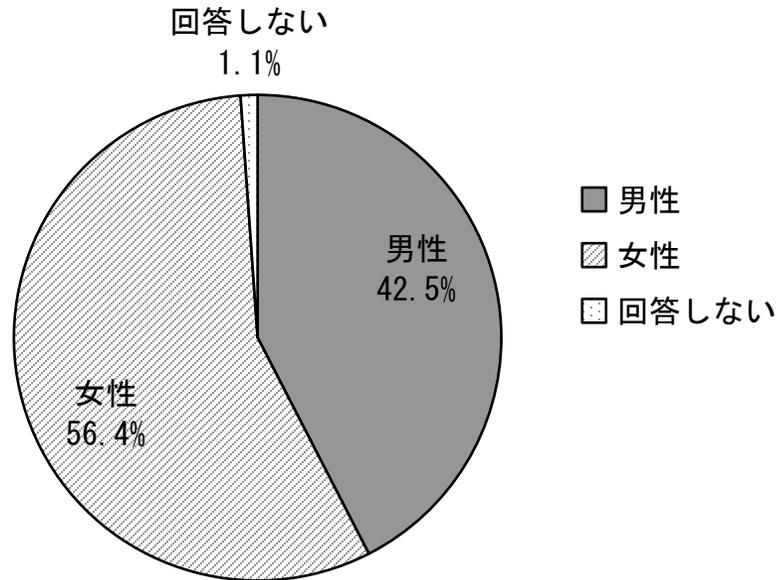
✓ 改善点を把握する。

✓ 設問自体が公共交通利用のきっかけとなることを期待している。

公共交通に関する市民アンケート調査 結果報告

問1-1. 性別

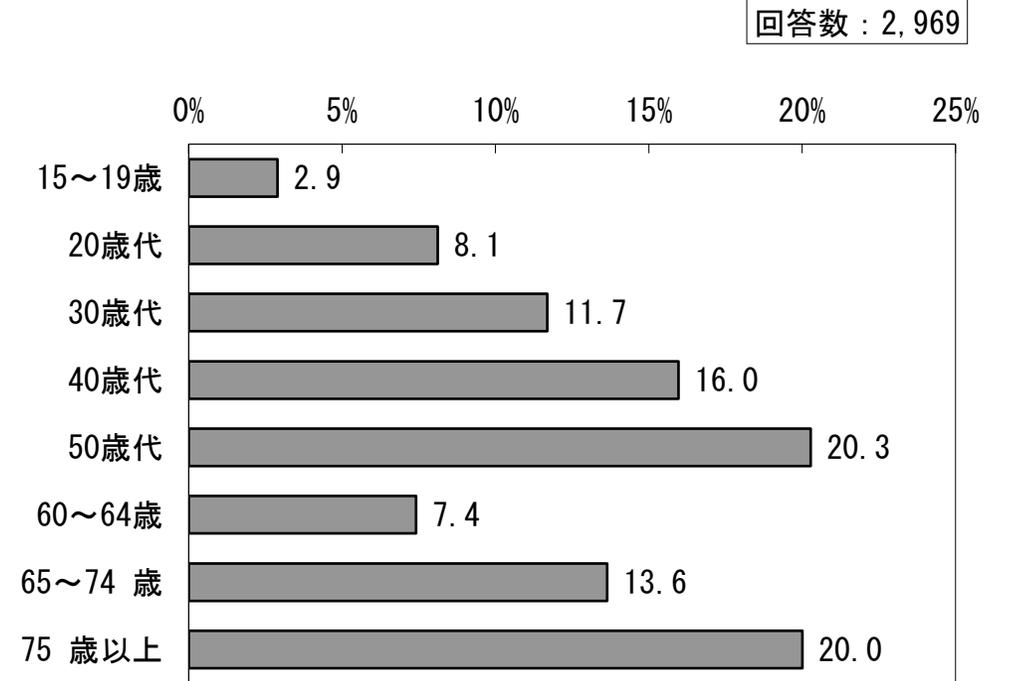
回答者の性別は「女性」が56.4%「男性」は42.5%



回答数 : 2,949

問1-2. 年齢

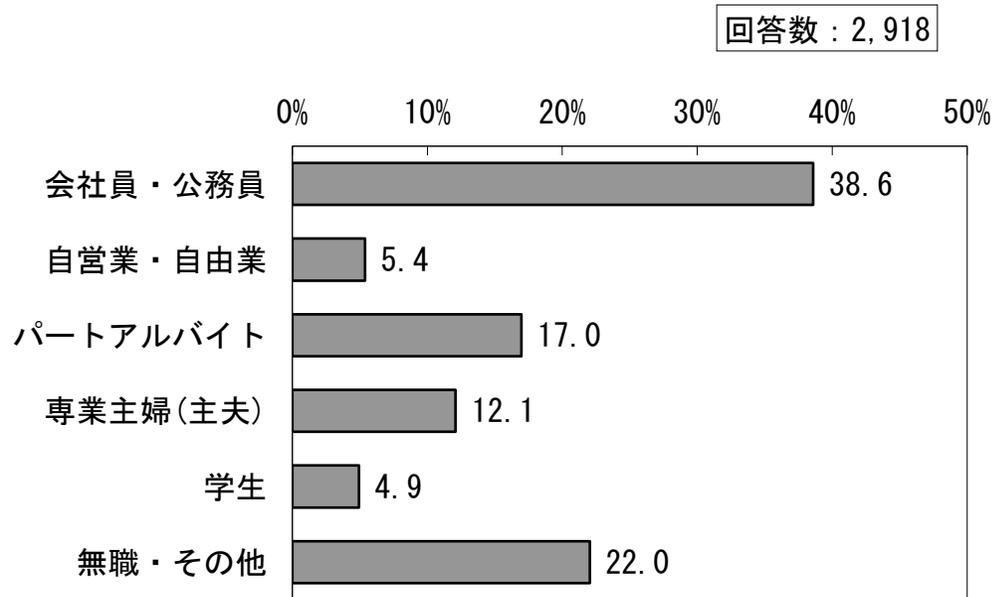
50歳代・75歳以上が各20%前後と多く、幅広い年齢層から回答が得られた。なお、65歳以上の割合は33.6%



公共交通に関する市民アンケート調査 結果報告

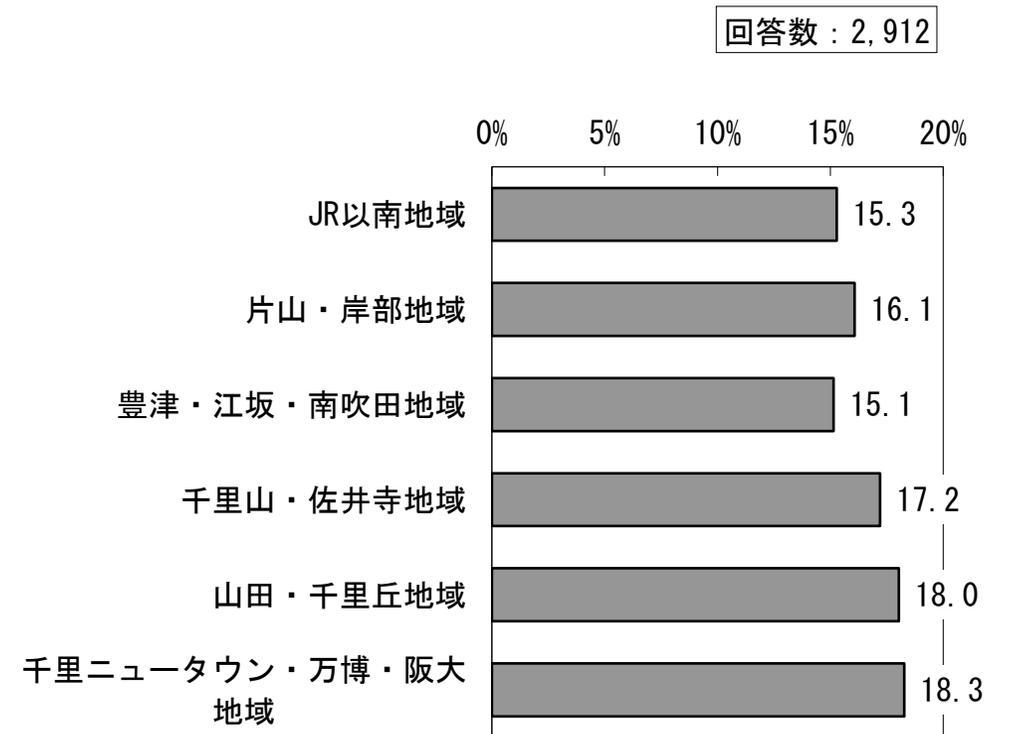
問1-3. 職業

「会社員・公務員」が38.6%と最も多く、
「無職・その他」22.0%、「パートアルバイト」17.0%と続く。



問1-4. 居住地域（郵便番号を整理）

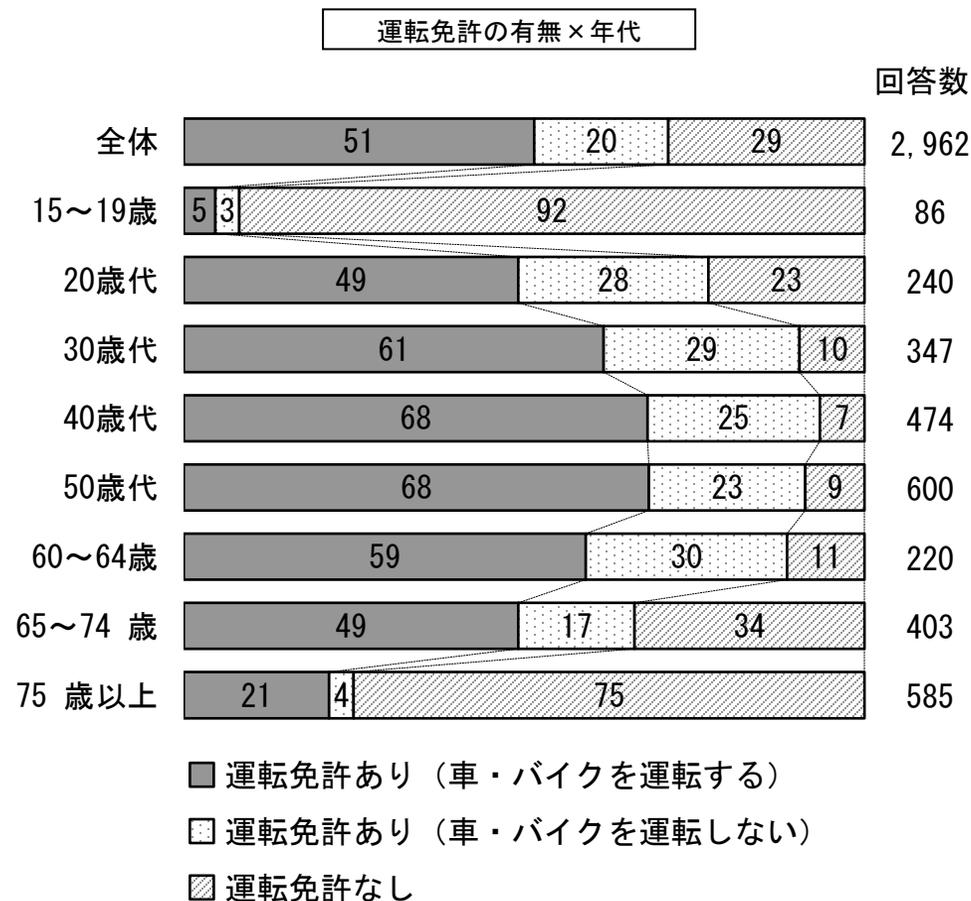
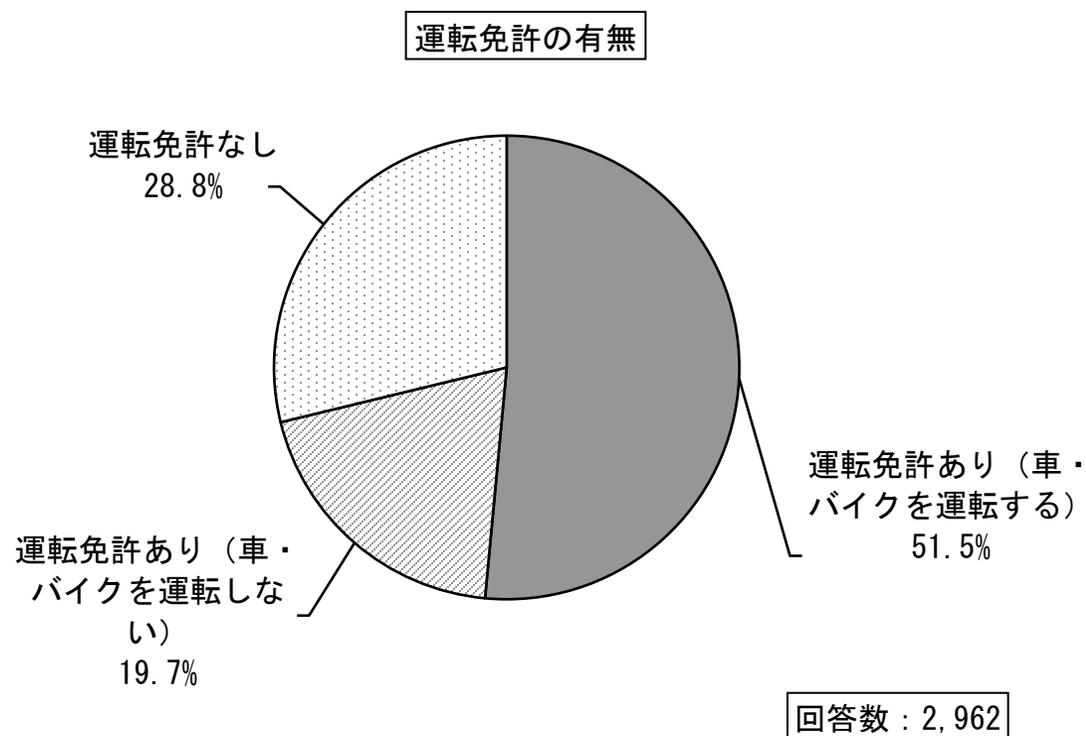
6地域均等の配布に沿い、概ね均質に回答が得られている。



公共交通に関する市民アンケート調査 結果報告

問1-5-1. 運転免許の保有状況

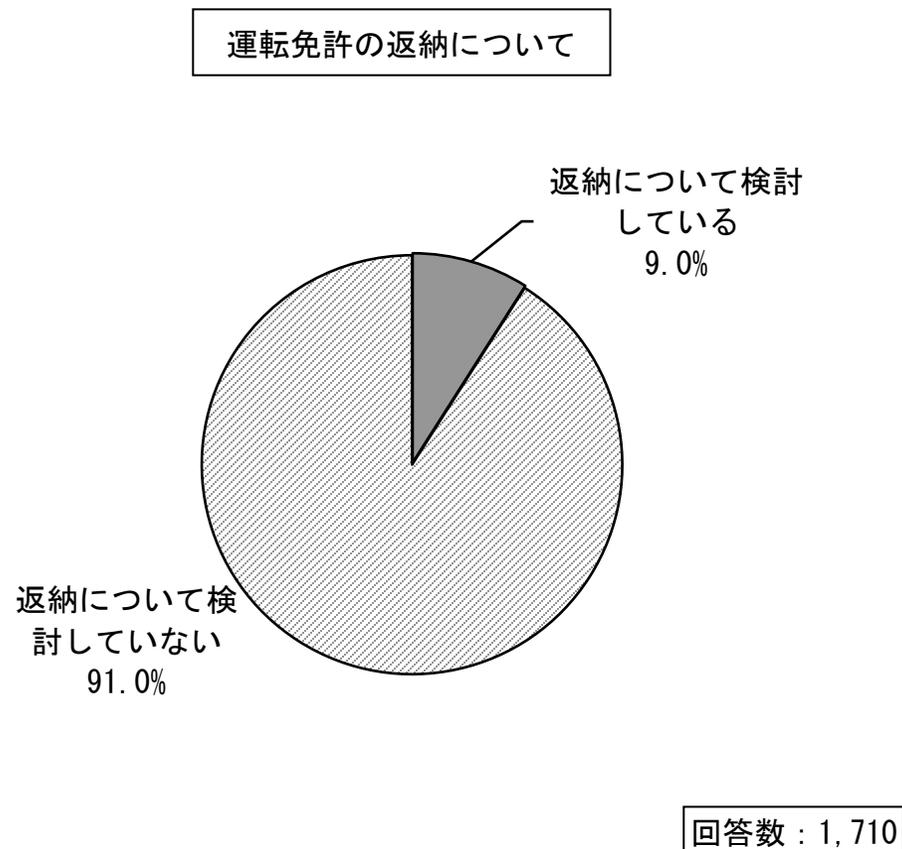
「運転免許あり（車・バイクを運転する）」が最も多く51.5%。運転免許所持者は71.2%。年代別にみると75歳以上において、運転免許保有（運転する）の割合が21%まで低下している。



公共交通に関する市民アンケート調査 結果報告

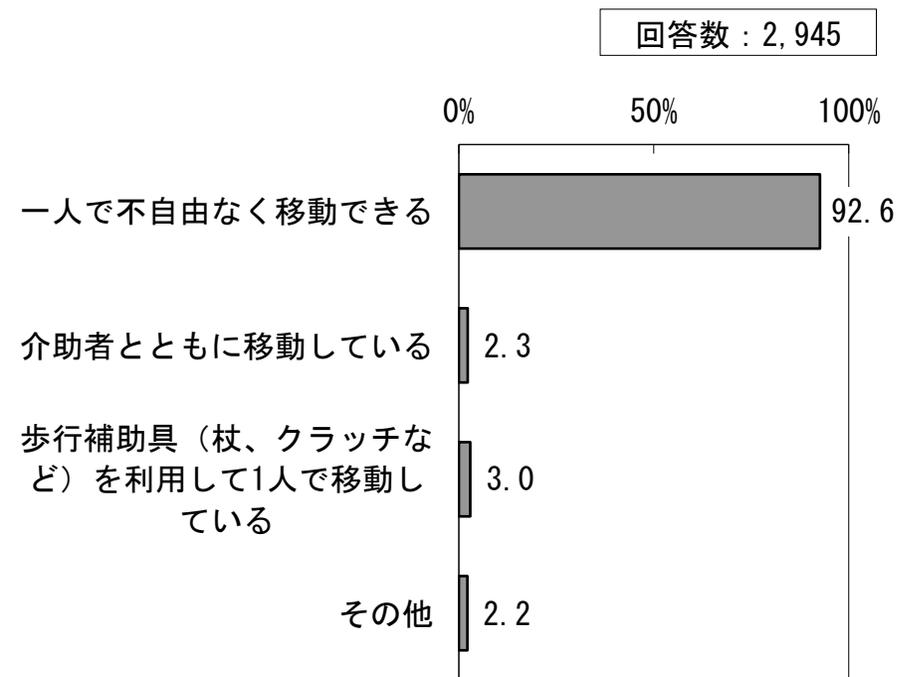
問1-5-2. 運転免許の返納意思

「返納について検討していない」が91.0%、
「返納について検討している」が9.0%。



問1-6. 移動状況

「一人で不自由なく移動できる」が最も多く92.6%となっている。



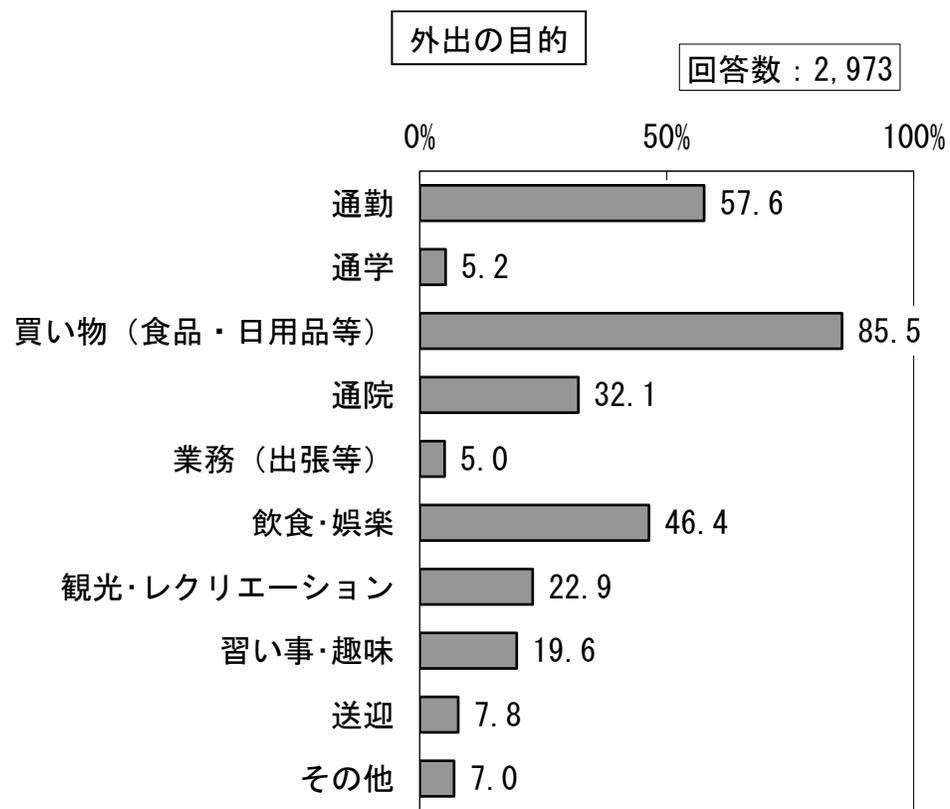
【その他の内容（抜粋）】

- ・ タクシー
- ・ 身体不自由な所あり
- ・ 施設に入っている為ほとんど外出することがない
- ・ 入院中
- ・ 車いす 等

公共交通に関する市民アンケート調査 結果報告

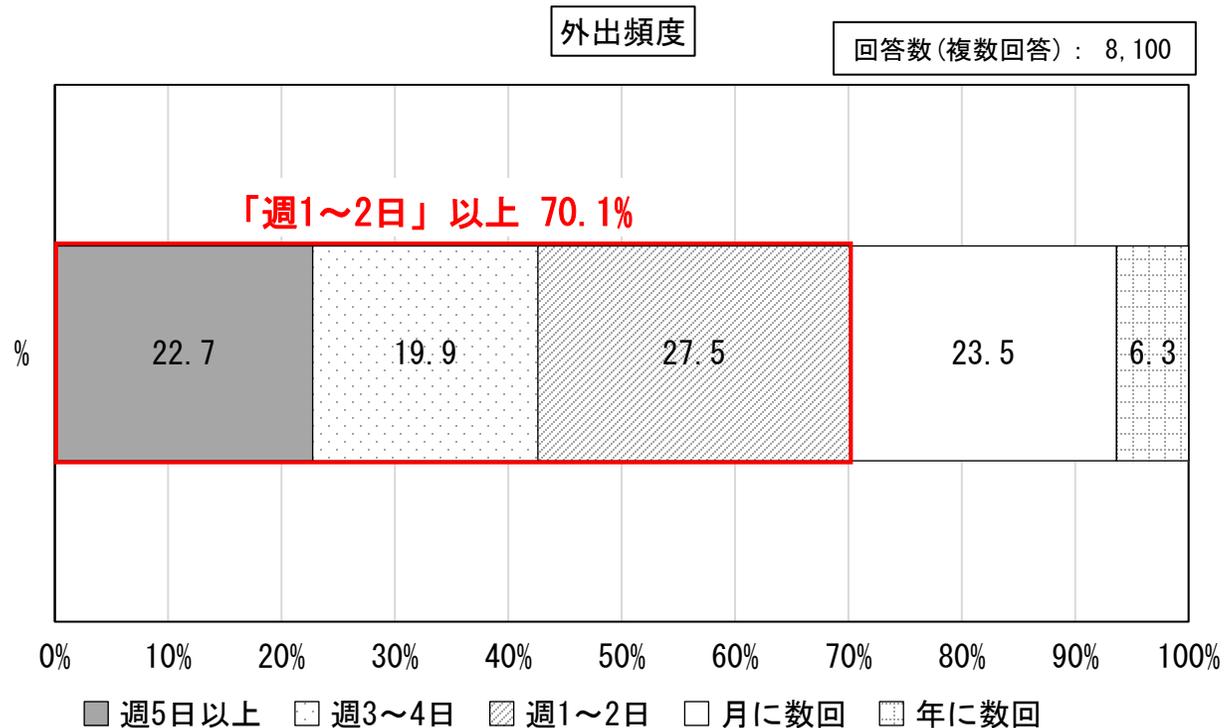
問2. 外出の目的

外出の目的は「買い物（食品・日用品等）」が最も多く85.5%。次いで「通勤」が57.6%、「飲食・娯楽」が46.4%。



問3-1. 外出頻度（統合）

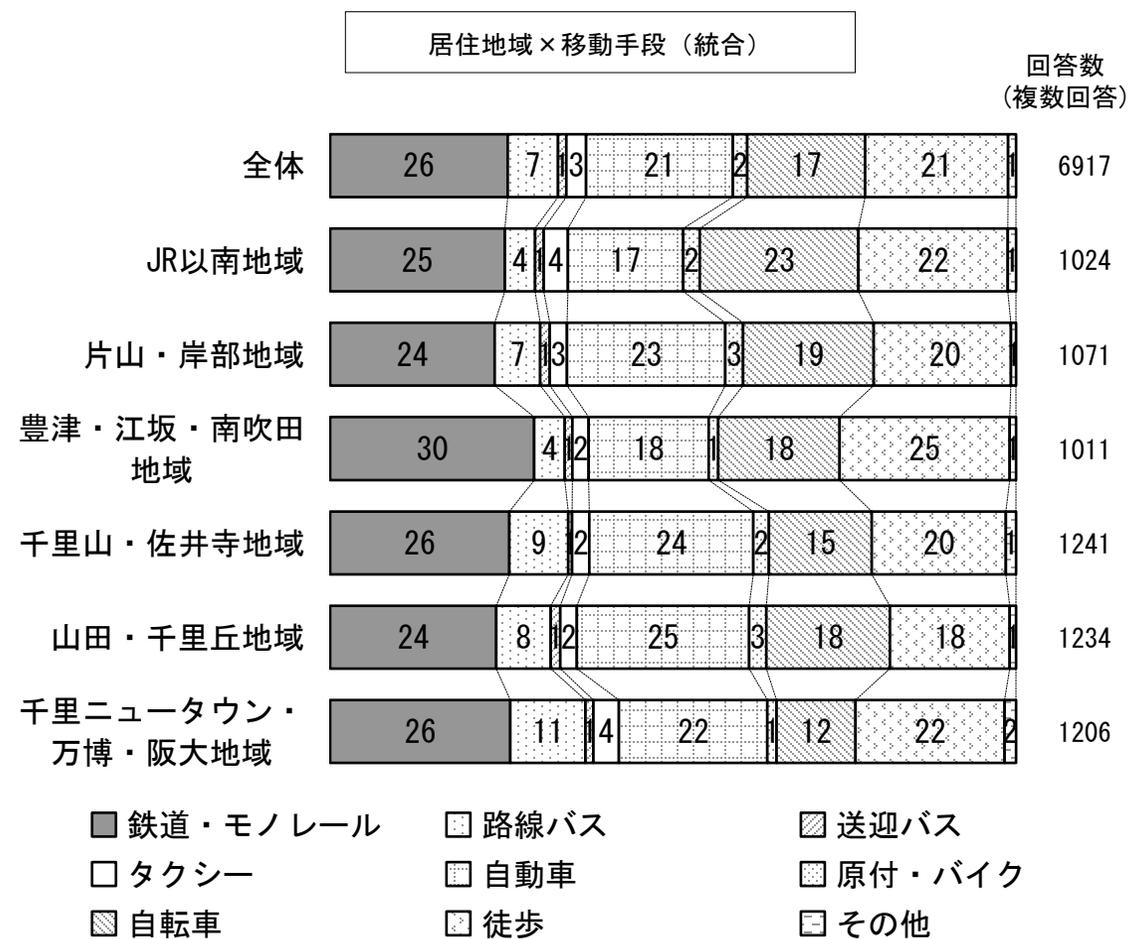
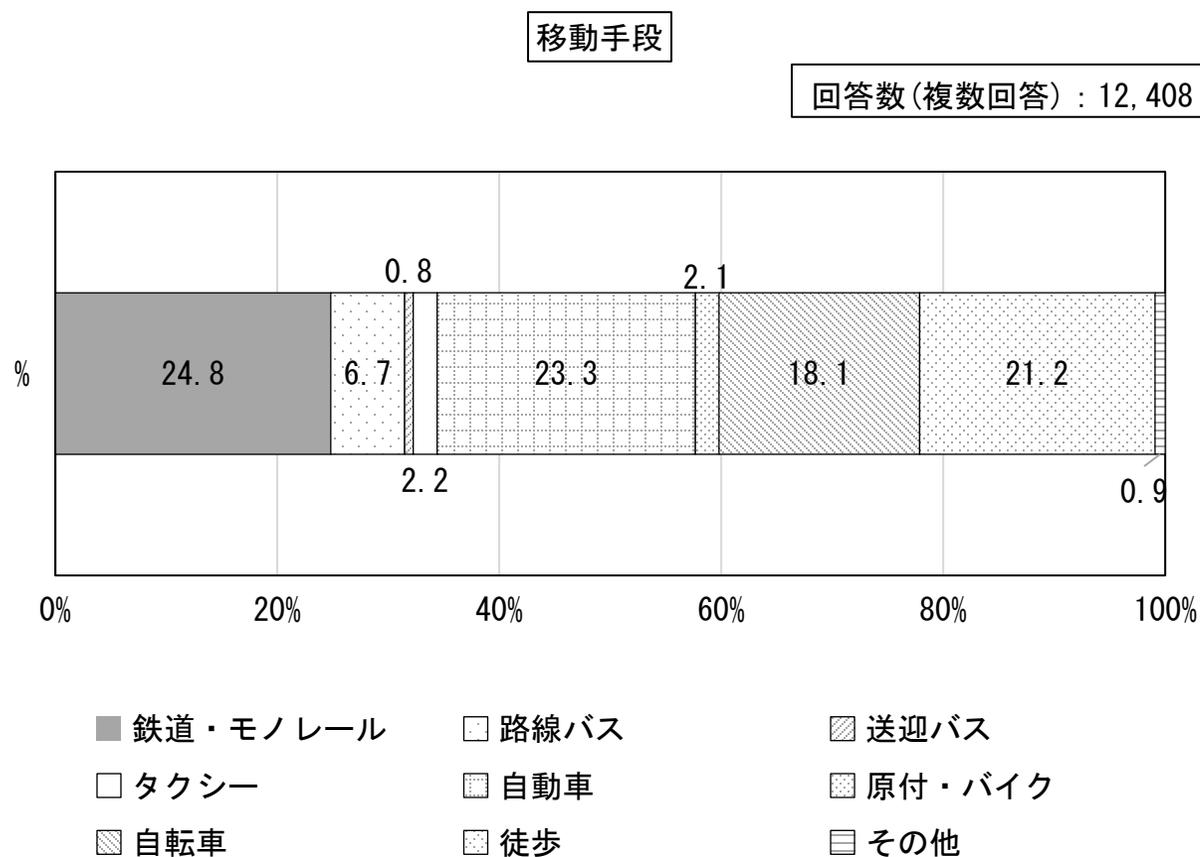
主要な外出目的（3つまで選択）における外出頻度の合計として、「週1～2日」以上の移動の割合は70.1%。
前回結果の67.8%から2.3ポイント上昇。



公共交通に関する市民アンケート調査 結果報告

問3-2. 移動手段（統合）

主要な外出目的（3つまで選択）における移動手段の合計として、「鉄道・モノレール」が最も多く24.8%。次いで自動車が23.3%、徒歩が21.2%、自転車が18.1%。（路線バス6.7%、タクシー2.2%）



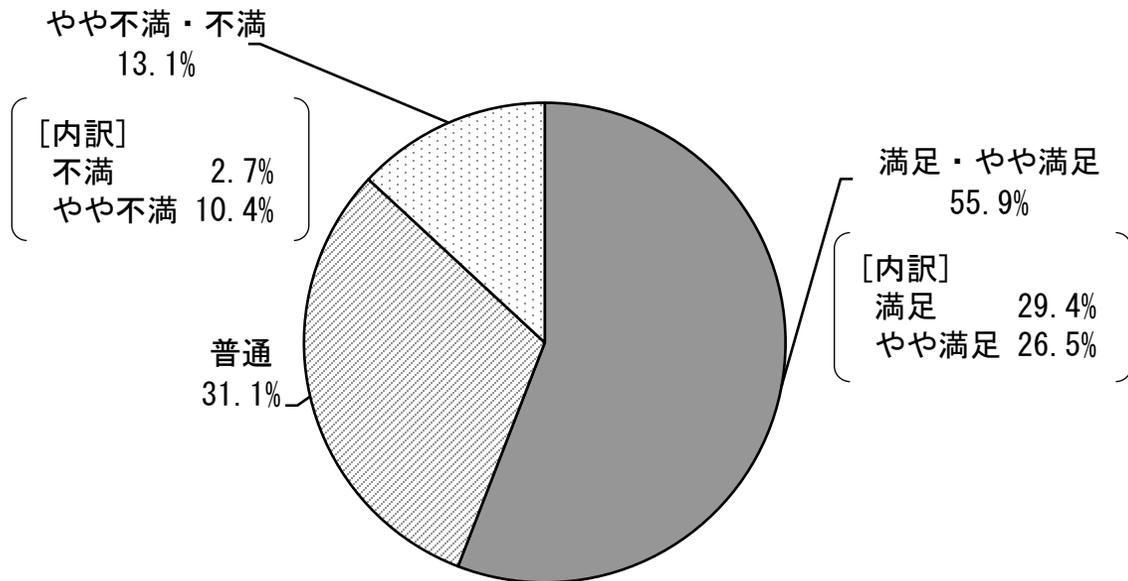
公共交通に関する市民アンケート調査 結果報告

問4. 鉄道・モノレールの満足度

全体的な満足率（満足+やや満足）は55.9%で、前回結果の47.5%から8.4ポイント上昇。
不満足率（不満+やや不満）と比べて満足率が高くなっている。

【参考：クロス集計】

鉄道・モノレールの満足度（統合）



(参考) R1アンケート結果
満足・やや満足 47.5%
普通 45.6%
やや不満・不満 7.0%

回答数：2,599

居住地域×鉄道・モノレールの満足度（統合）

居住地域	満足・やや満足	普通	やや不満・不満	回答数
全体	56	31	13	2599
JR以南地域	56	32	12	355
片山・岸部地域	54	33	13	400
豊津・江坂・南吹田地域	55	30	15	390
千里山・佐井寺地域	58	30	12	455
山田・千里丘地域	48	35	17	471
千里ニュータウン・万博・阪大地域	65	26	9	475

■ 満足・やや満足 □ 普通 ▨ やや不満・不満

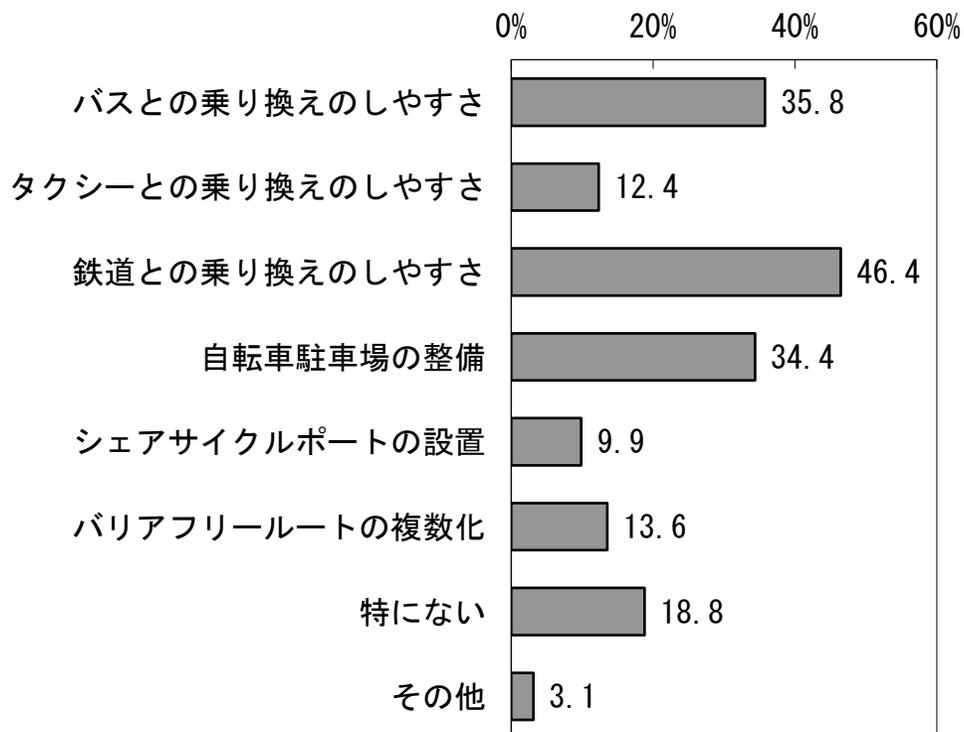
公共交通に関する市民アンケート調査 結果報告

問5. 交通結節点の改善点

「鉄道との乗り換えのしやすさ」が最も多く46.4%。次いで「バスとの乗り換えのしやすさ」が35.8%、「自転車駐車場の整備」が34.4%。

交通結節点の改善点

回答数：2,590

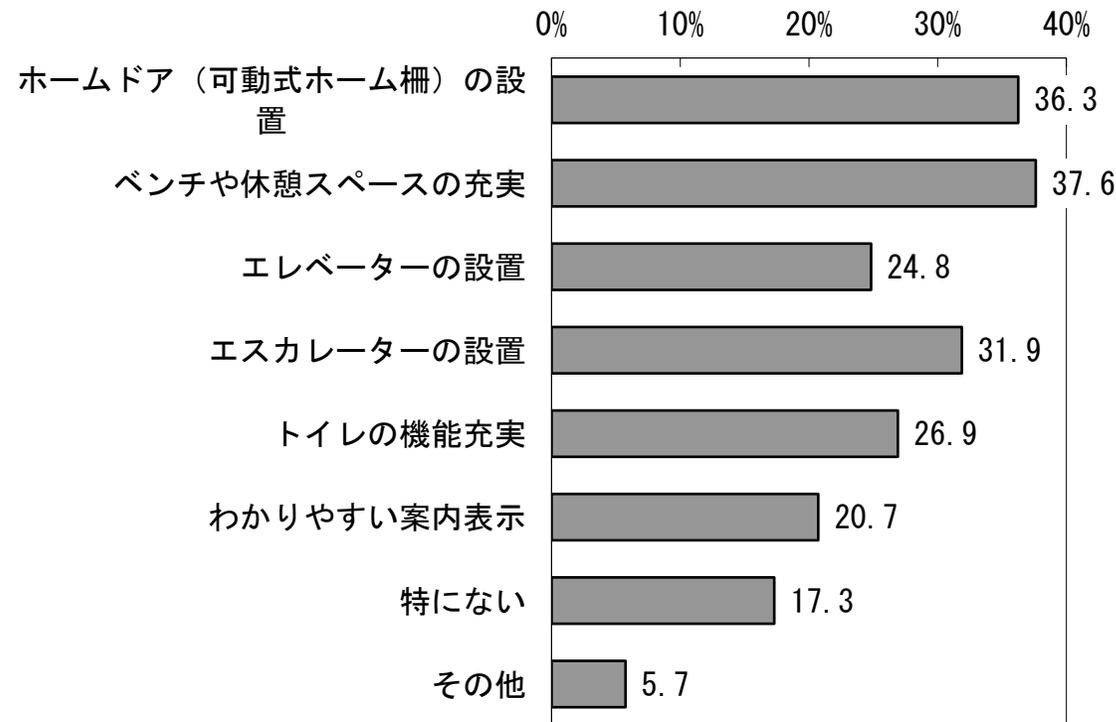


問6. 駅舎の改善点

「ベンチや休憩スペースの充実」が最も多く37.6%。次いで「ホームドア（可動式ホーム柵）の設置」が36.3%、「エスカレーターの設置」が31.9%。

駅舎の改善点

回答数：2,595



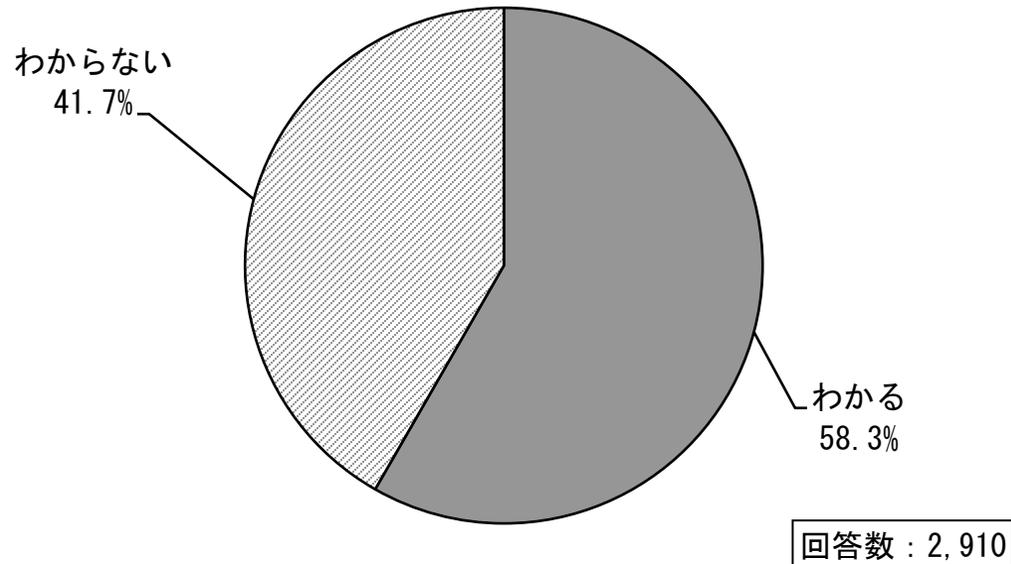
公共交通に関する市民アンケート調査 結果報告

問7. 最寄りのバス停の認知状況

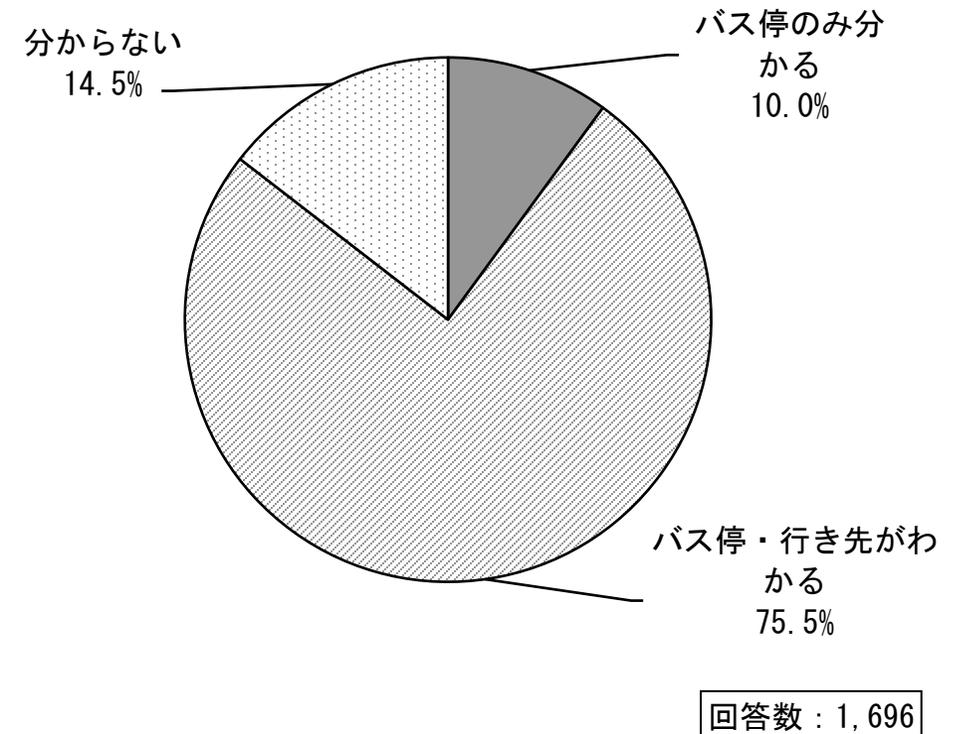
最寄りのバス停の認知状況として「わかる」の回答が58.3%

「わかる」と回答したうち、バス停名および行き先の把握状況を確認したところ「バス停・行き先がわかる」方が75.5%

最寄りのバス停の認知状況



バス停認知-細目



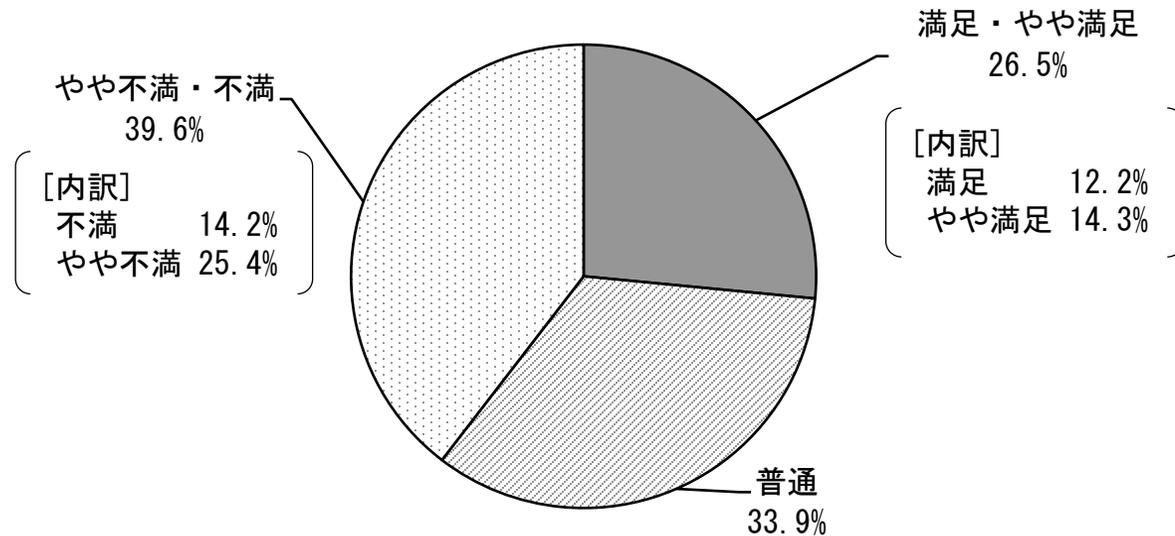
公共交通に関する市民アンケート調査 結果報告

問8. 路線バスの満足度

全体的な満足率（満足+やや満足）は26.5%で、前回結果の21.2%から5.3ポイント上昇している。
また、満足率よりも不満率（不満+やや不満）が高くなっている。

【参考：クロス集計】

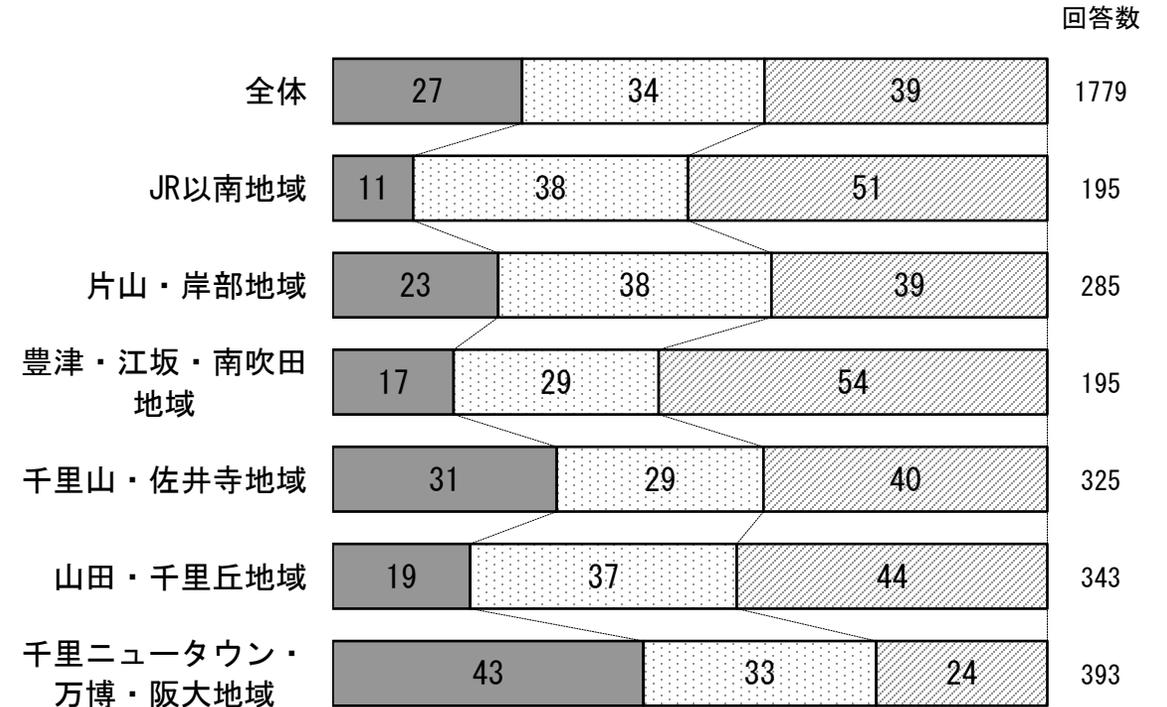
路線バスの満足度（統合）



(参考) R1アンケート結果
満足・やや満足 21.2%
普通 55.0%
やや不満・不満 23.8%

回答数：1,779

居住地域×路線バスの満足度（統合）



■ 満足・やや満足 □ 普通 ▨ やや不満・不満

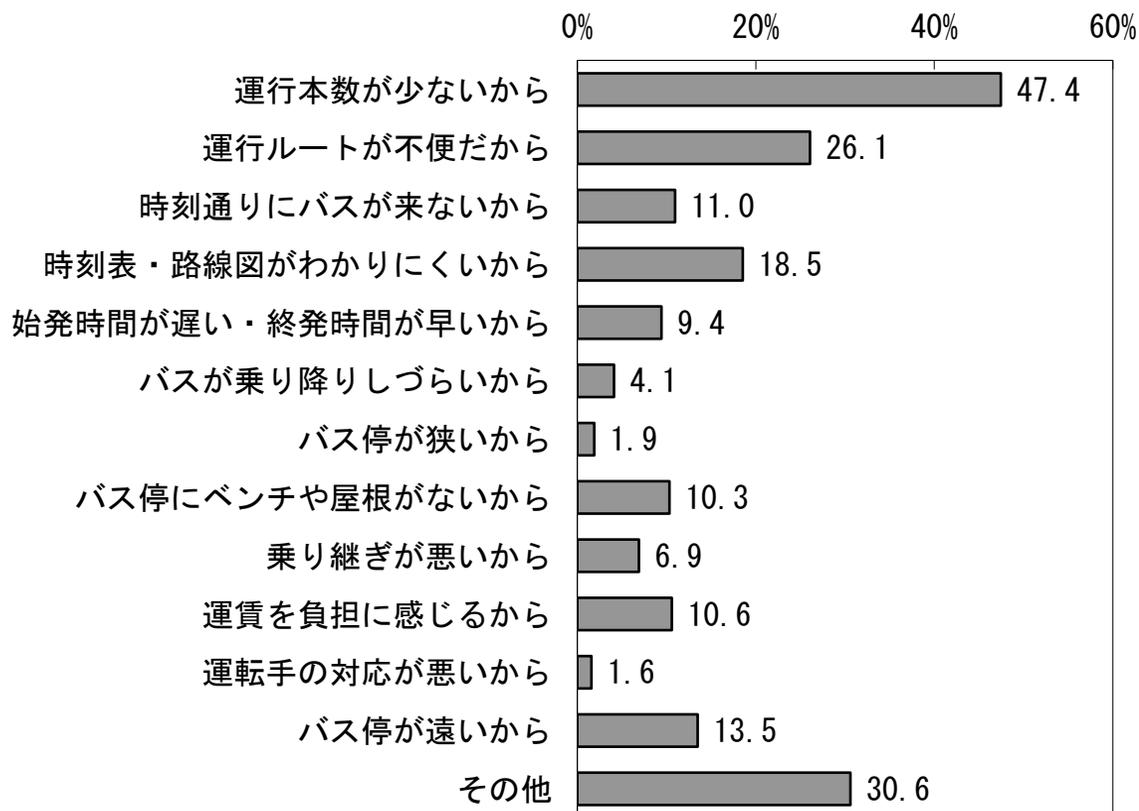
公共交通に関する市民アンケート調査 結果報告

問9. (路線バスの) 不満の理由

不満の理由は「運行本数が少ないから」が最も多く47.4%。

不満の理由

回答数：1,899



【その他の内容（抜粋）】

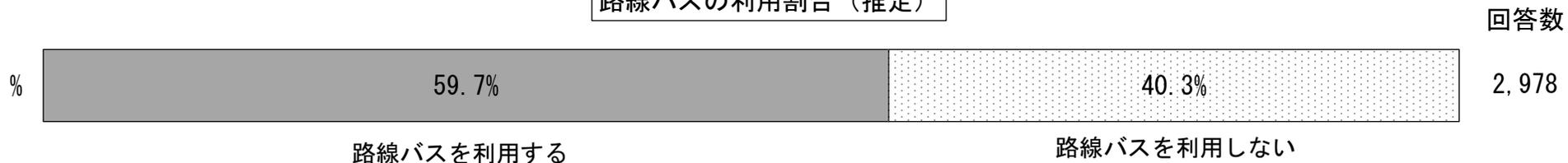
- ・ 使用する機会がない/必要性を感じない/他の交通手段で足りているから
- ・ バスの中は狭くて、よく揺れます
- ・ 渋滞による遅延
- ・ ベビーカーでの移動のしにくさ/子連れでバス利用が難しい
- ・ バスの乗り方が分からない。運賃も分からない
- ・ バス停の屋根が小さい/ベンチが小さい
- ・ 車床が低くなってから窓が高くなり乗車中に外の景色が見えない
- ・ 運転が荒い方のバスは酔うのと、立っているとバランスを崩しやすい
- ・ 乗り慣れていないので、行き先に到着するまで不安だから
- ・ シルバー料金があればもっと利用すると思う
- ・ バスの座席にすわれないことが多いから
- ・ バスの運行が廃止された

公共交通に関する市民アンケート調査 結果報告

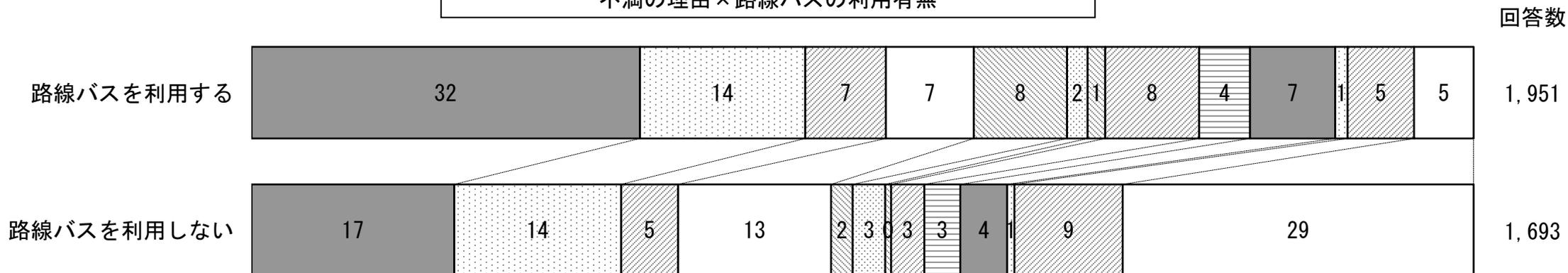
問9. (路線バスの) 不満の理由

路線バス利用者においては、運行本数・ルート、始終発時間、バス停環境に関する不満が多くなっている。
 路線バスを利用しない方においては利用者と比較して、時刻表・路線図がわかりにくいの不満割合が高くなっている。

路線バスの利用割合 (推定)



不満の理由 × 路線バスの利用有無



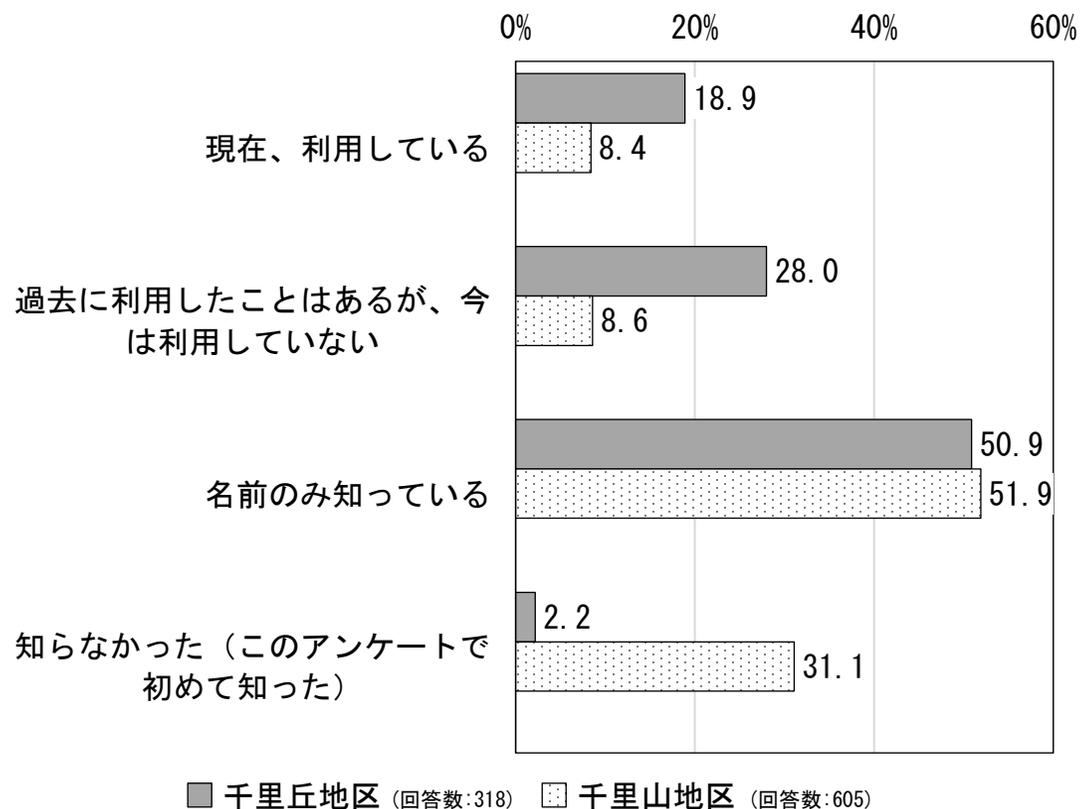
- 運行本数が少ないから
- 時刻表・路線図がわかりにくいから
- 運行ルートが不便だから
- バス停が狭いから
- 運賃を負担に感じるから
- その他
- 始発時間が遅いまたは終発時間が早いから
- 時刻通りにバスが来ないから
- バス停にベンチや屋根がないから
- バスが乗り降りしづらいから
- 運転手の対応が悪いから
- 乗り継ぎが悪いから
- バス停が遠いから

公共交通に関する市民アンケート調査 結果報告

問10-1. すいすいバスの利用状況

すいすいバスの運行する地区の居住者回答を抽出したところ、千里山地区においては、「知らなかった（このアンケートで初めて知った）」の割合が高く31.1%となっている。

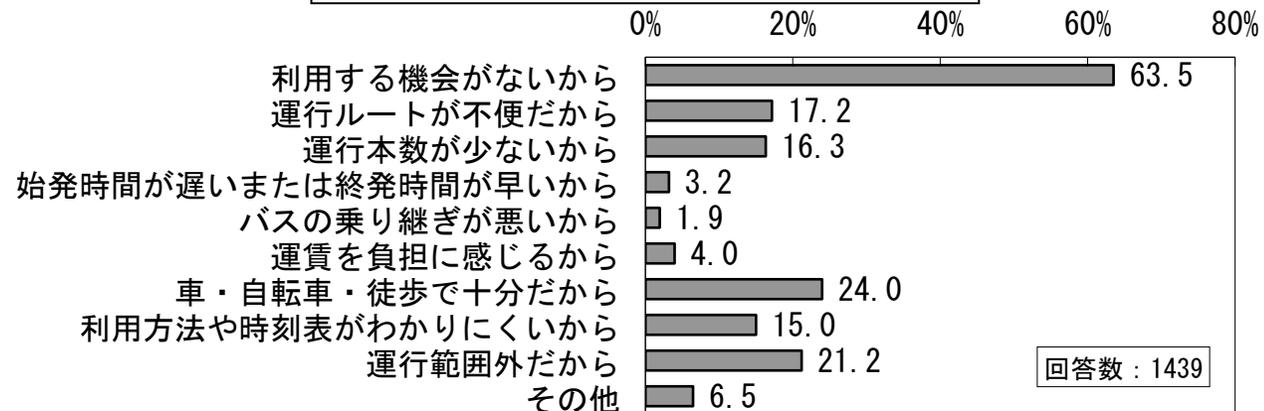
すいすいバスの利用状況（対象エリア別）



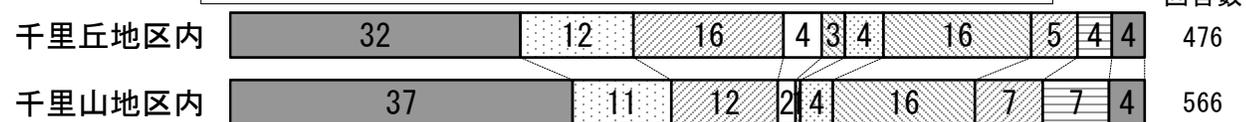
問10-2. すいすいバスを利用していない理由

「利用する機会がないから」が最も多く63.5%となっている。運行地区別の回答として、それぞれ「利用する機会がないから」「運行本数が少ないから」「車・自転車・徒歩で十分だから」「運行ルートが不便だから」の割合が高い。

すいすいバスを利用していない理由



すいすいバスを利用していない理由（対象エリア別）



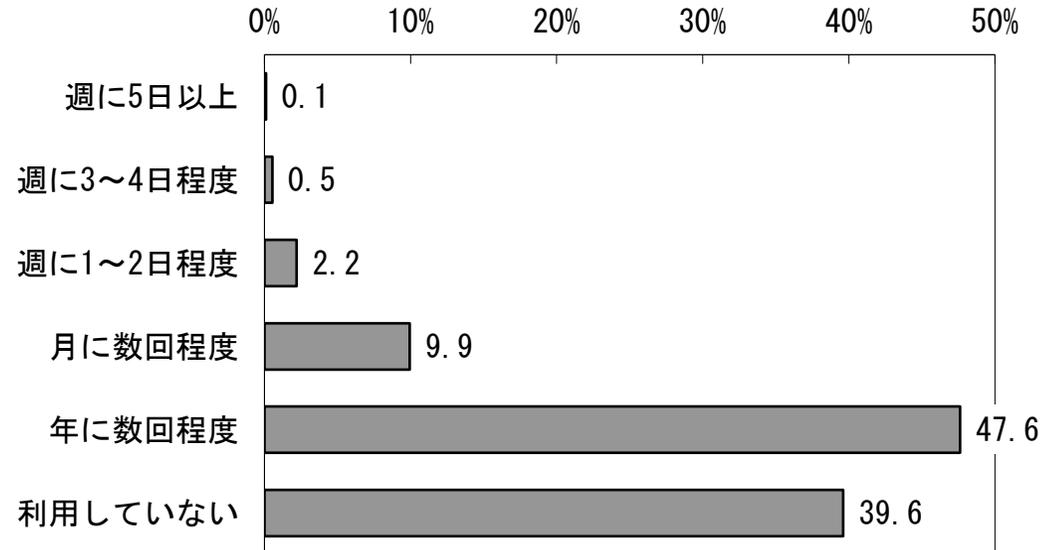
- 利用する機会がないから
- ▨ 運行ルートが不便だから
- ▩ 運行本数が少ないから
- 始発時間が遅いまたは終発時間が早いから
- ▧ バスの乗り継ぎが悪いから
- ▦ 運賃を負担に感じるから
- ▤ 車・自転車・徒歩で十分だから
- ▥ 利用方法や時刻表がわかりにくいから
- ▣ 運行範囲外だから
- その他

問11. タクシーの利用頻度

「年に数回程度」の割合が最も多く47.6%となっている。

タクシーの利用頻度

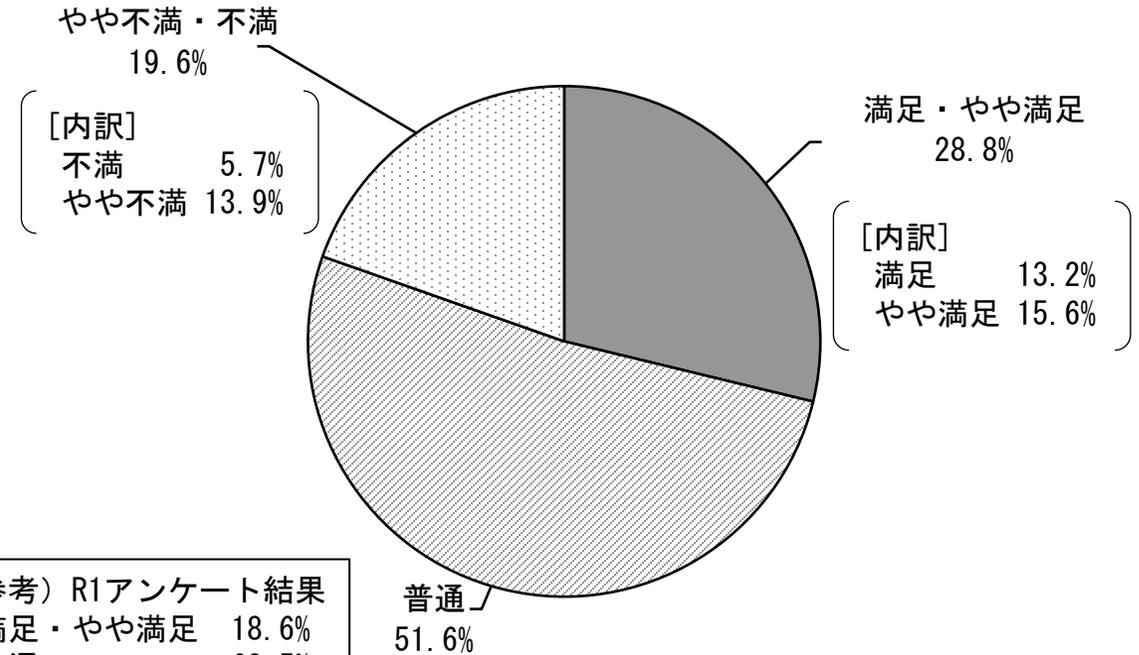
回答数：2,949



問12. タクシーの満足度

全体的な満足率（満足+やや満足）は28.8%で、前回結果の18.6%から10.2ポイント上昇。
また、不満率（不満+やや不満）と比べて満足率が高くなっている。

タクシーの満足度（統合）



(参考) R1アンケート結果
 満足・やや満足 18.6%
 普通 63.5%
 やや不満・不満 17.9%

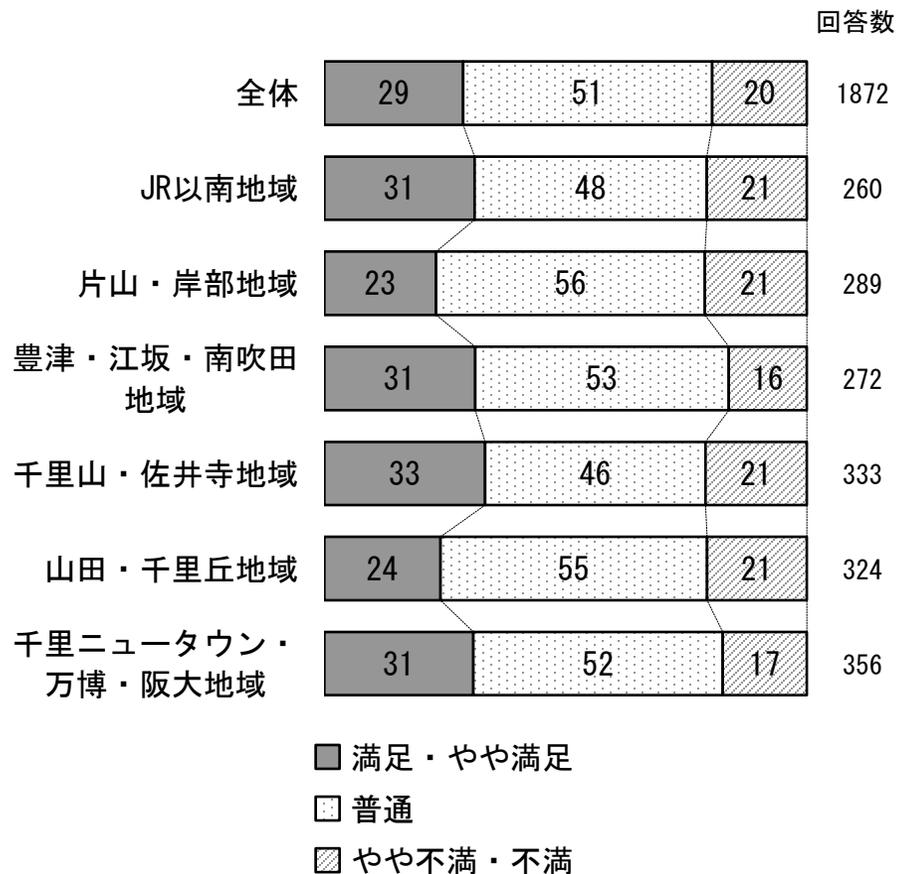
回答数：1,872

公共交通に関する市民アンケート調査 結果報告

問12. タクシーの満足度

【参考：クロス集計】

居住地域×タクシーの満足度（統合）

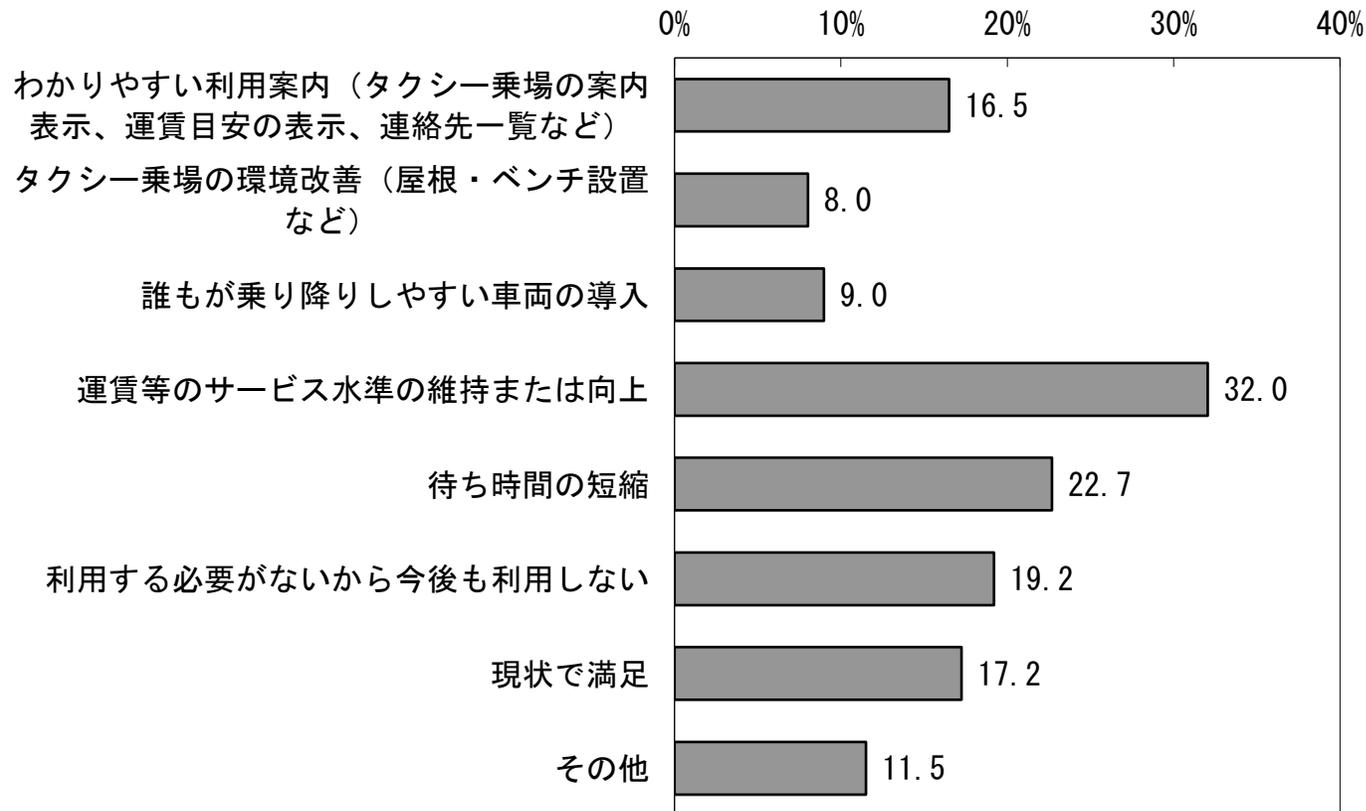


問13. タクシーの利用促進策

「運賃等サービス水準の維持・向上」が最も多く32.0%。次いで「待ち時間の短縮」が22.7%、「利用する必要がないから今後も利用しない」が19.2%、「現状で満足」が17.2%。

タクシーの利用促進策

回答数：2,842

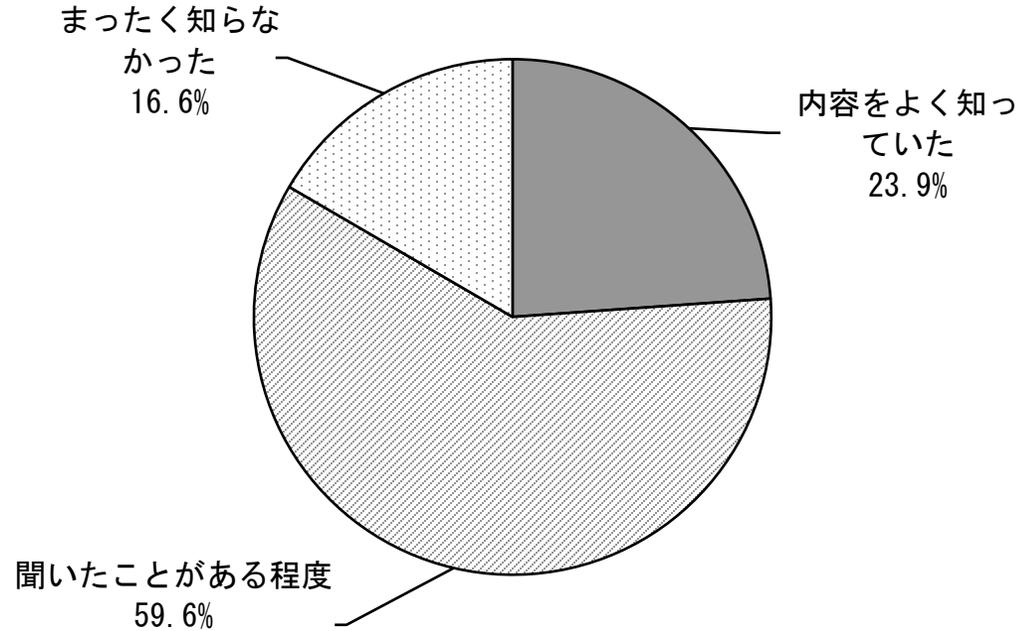


公共交通に関する市民アンケート調査 結果報告

問15. 運転士不足の認知状況

「聞いたことがある程度」が最も多く59.6%、
次いで「内容をよく知っていた」が23.9%となっている。

運転士不足の認知状況

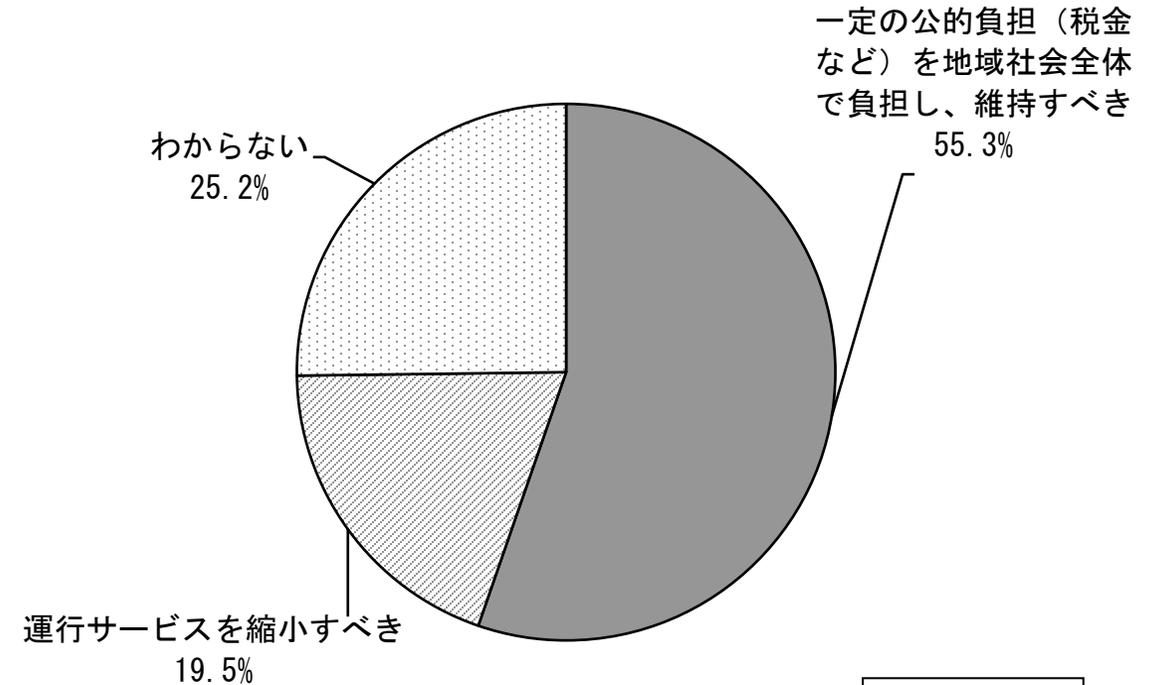


回答数：2,937

問16. 路線維持に関する意向

「維持すべき」が最も多く55.3%、
次いで「わからない」が25.2%。

路線維持に関する意向



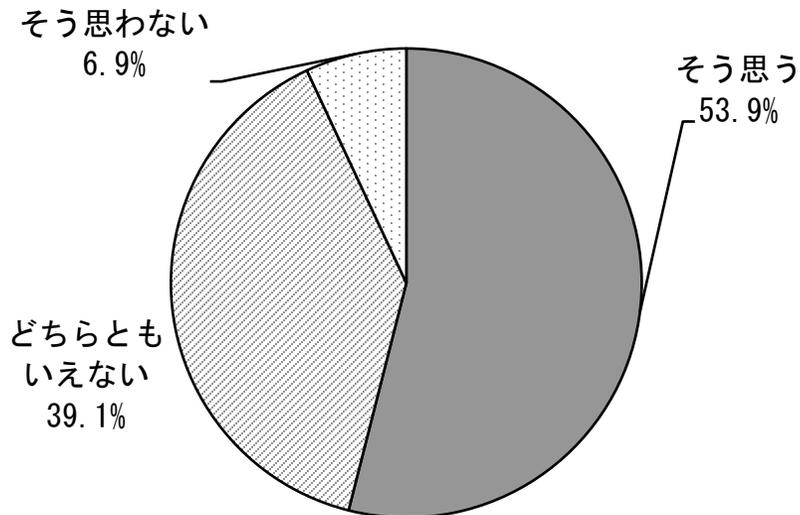
回答数：2,892

公共交通に関する市民アンケート調査 結果報告

問17. 公共交通をより利用したいと思うか

「そう思う」が最も多く53.9%。
次いで「どちらともいえない」が39.1%。

公共交通をより利用したいと思うか



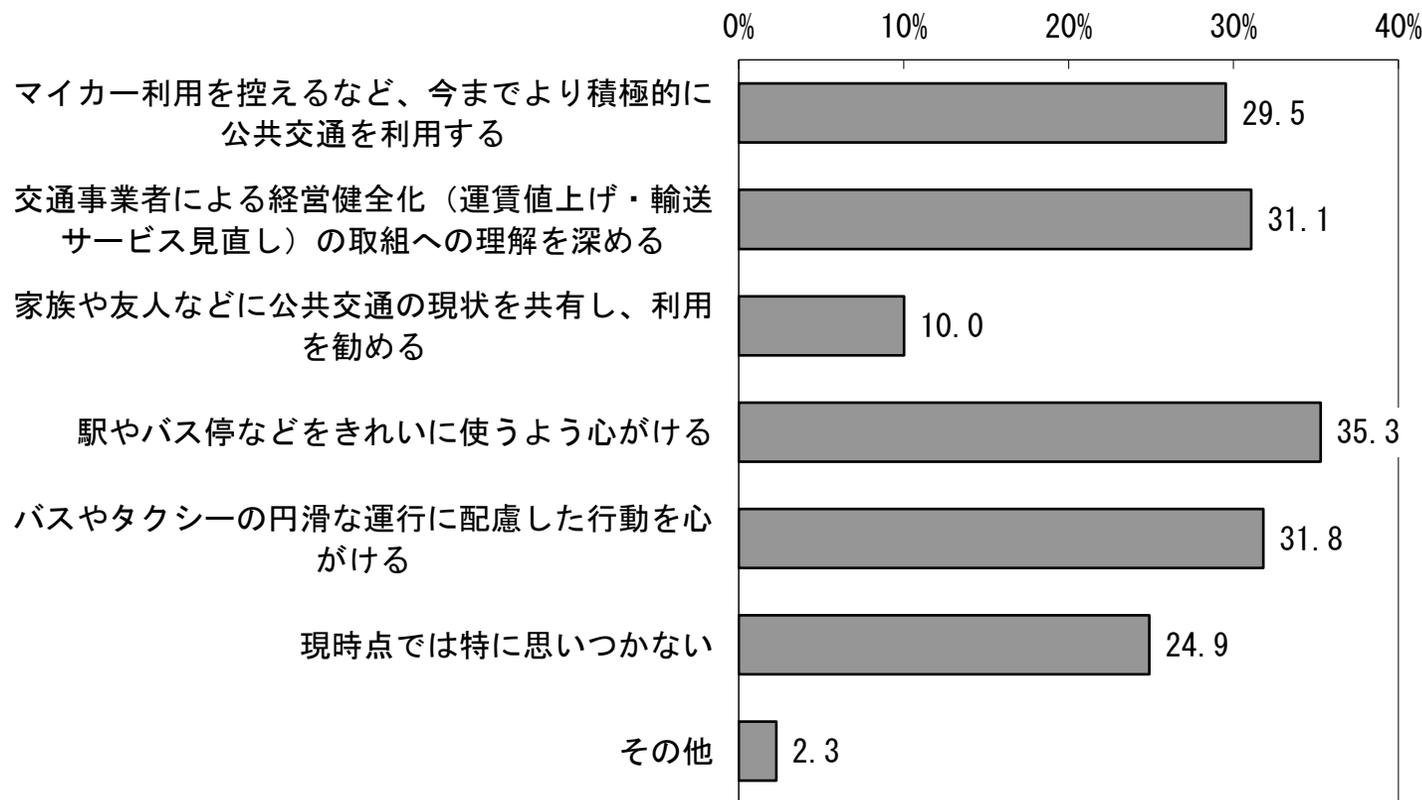
回答数：2,938

問18. 公共交通維持に向けた協力意向

「駅やバス停などをきれいに使うよう心がける」が最も多く35.3%。
次いで「バスやタクシーの円滑な運行に配慮した行動を心がける」が31.8%となっている

公共交通維持に向けた協力意向

回答数：2,905



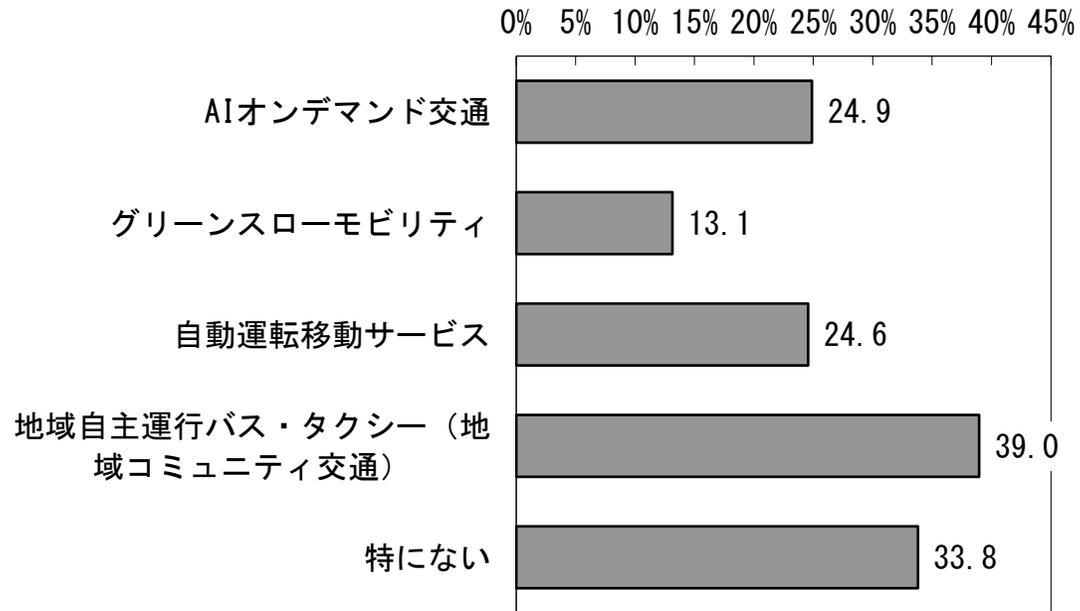
公共交通に関する市民アンケート調査 結果報告

問19. 必要だと思うモビリティサービス

「地域自主運行バス・タクシー（コミュニティ交通）」が最も多く39.0%。次いで「特にない」が33.8%。

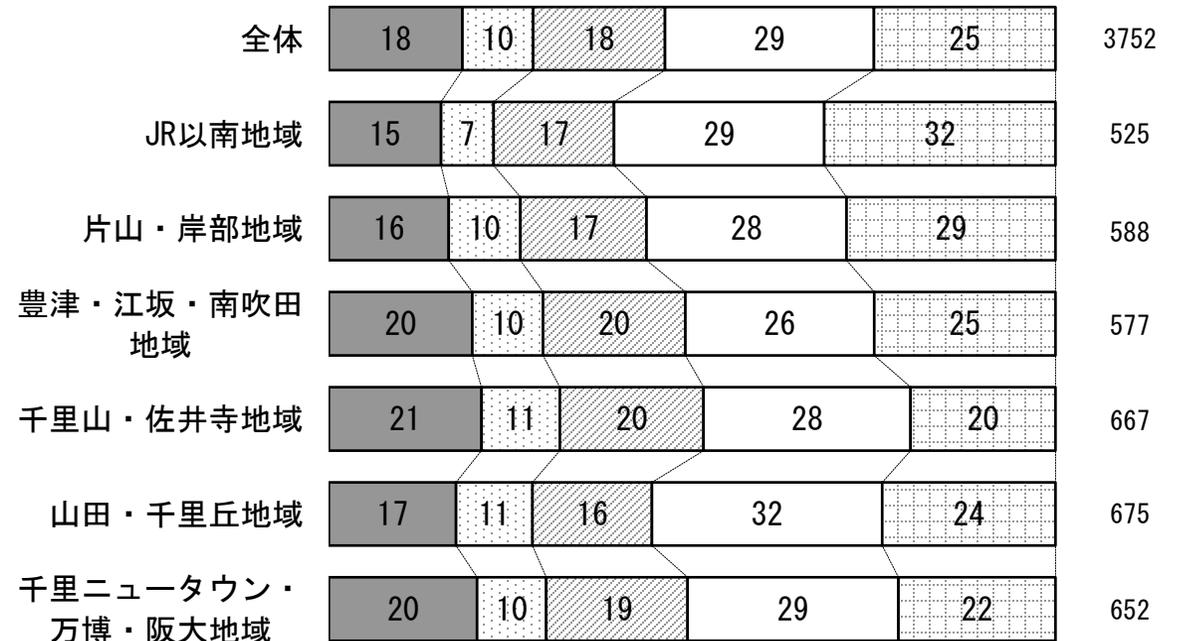
必要だと思うモビリティサービス

回答数：2,772



居住地域×必要だと思うモビリティサービス

回答数
(複数回答)



- AIオンデマンド交通
- グリーンスローモビリティ
- ▨ 自動運転移動サービス
- 地域自主運行バス・タクシー（地域コミュニティ交通）
- ▨ 特にない

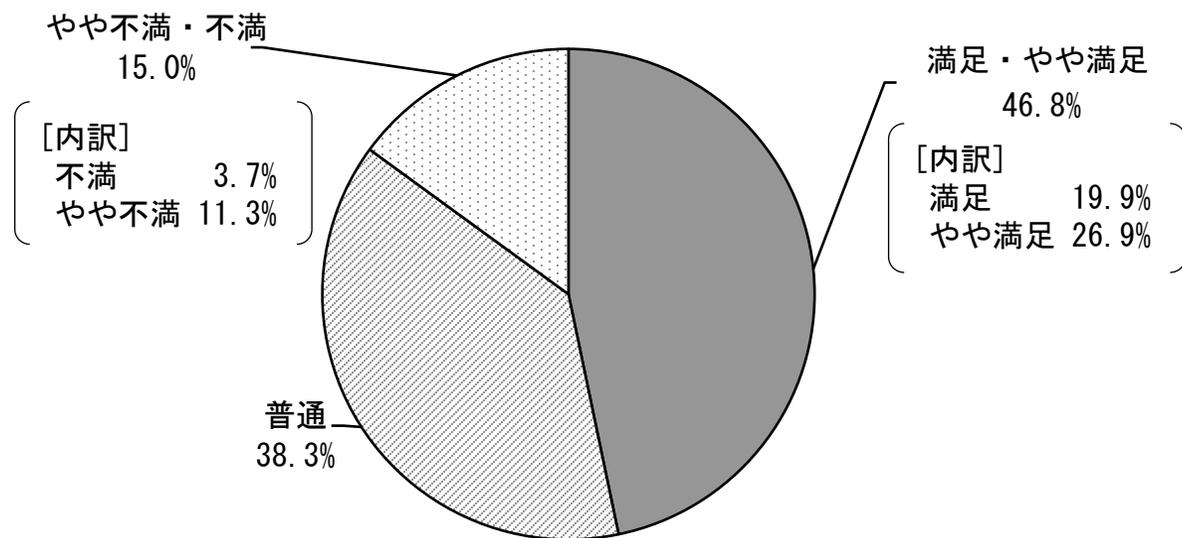
公共交通に関する市民アンケート調査 結果報告

問20-1. 公共交通全般の満足度

全体的な満足率（満足+やや満足）は46.8%で、前回結果の41.6%から5.2ポイント上昇している。
また、不満率（不満+やや不満）と比べて満足率が高くなっている。

【参考：クロス集計】

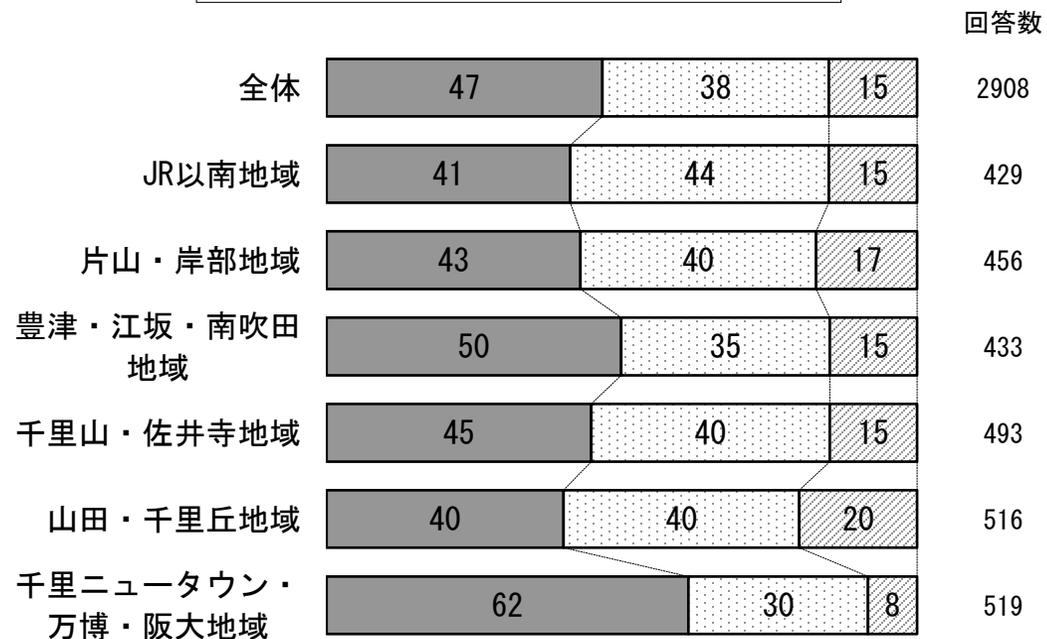
公共交通全般の満足度（統合）



(参考) R1アンケート結果
満足・やや満足 41.6%
普通 40.0%
やや不満・不満 18.5%

回答数：2,908

居住地域×公共交通全般の満足度（統合）

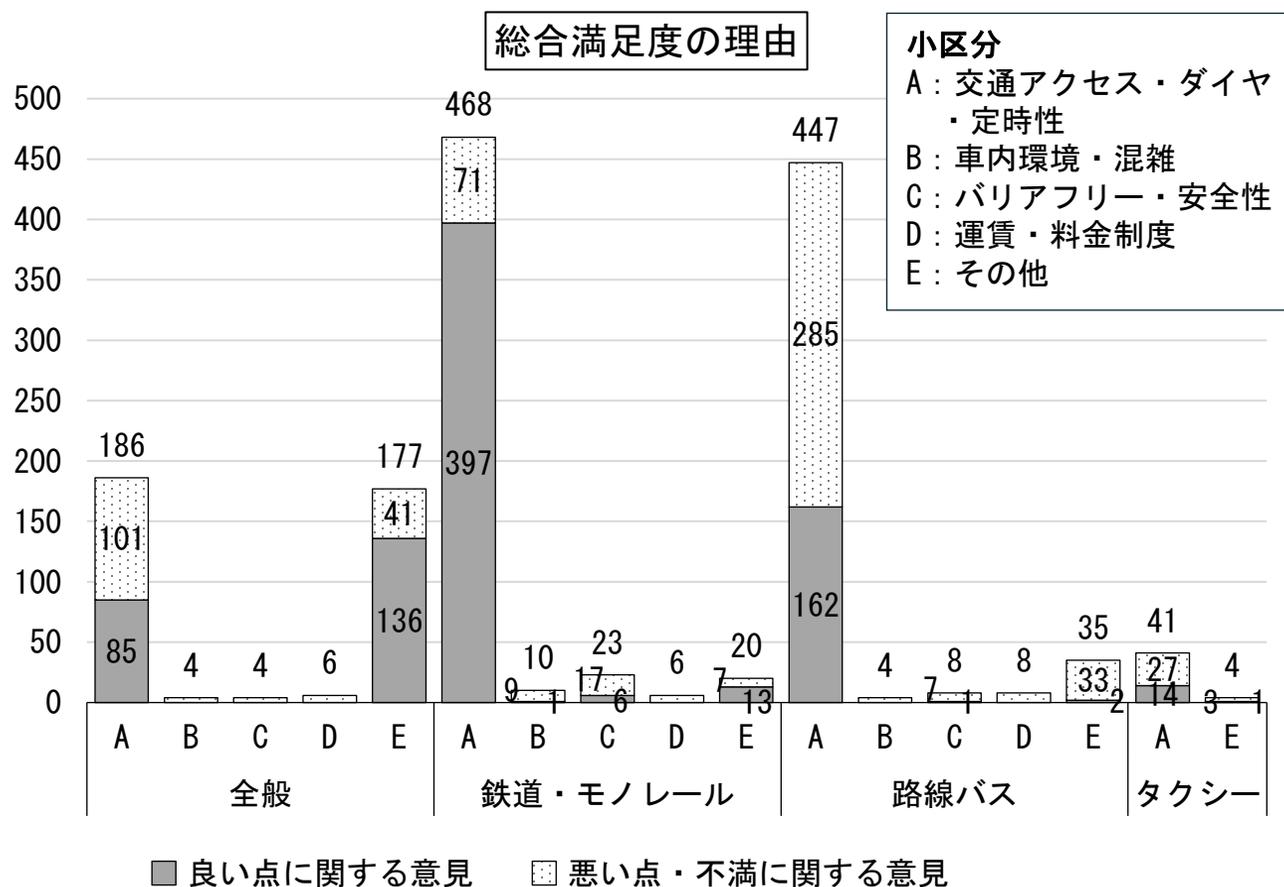


■ 満足・やや満足 □ 普通
▨ やや不満・不満

公共交通に関する市民アンケート調査 結果報告

問20-2. 満足度の理由

鉄道の「交通アクセス・ダイヤ・定時性」に関するポジティブな意見が多く、次いで路線バスの「交通アクセス・ダイヤ・定時性」に関するネガティブな意見が多い。



問21. その他意見

